



ナースディフェスタ和歌山

講演会

5月6日(土)開催

和歌山県看護協会で「看護の日」の記念事業を開催されて5年。

今年度から「ナースディフェスタ和歌山」として開催します。

神戸大学医学部附属病院乳腺外科科長 谷野 裕一先生に「知ることは新たな一歩となる～がん治療に向き合って～」と題してご講演いただきました。

高校生の方、県民の皆様、医療職を対象に、ご自身が医学を目指すきっかけになったこと、がんになっても元気に生活できるよう市民レベルの活動を立ち上げたこと、どのように人生に向きあっていくか、2人1人がんに罹患するといわれる時代に新しい一歩となる内容でした。



～参加者の声～

- ・自分の現状を知るということは、「がん」などに関わらず、少しこわいことであると思います。けれど、その作業を怠っては前進することが出来ない＝納得することが出来ないのだと・・・深く考えました。
- ・谷野先生の歩んでこられたことや思いを聴かせていただき、何かヒントを頂いたように思いました。高校生の方が多勢参加されており、今後の看護師のありかたなど一緒に考えていけたらと期待するばかりです。
- ・講演がとても印象深く残りました。がんの患者さんが“納得”のいくようなサポートが必要ということを知りました。ただ患者さんの様子を見るだけではなく精神面にも向き合える看護師になりたいと思いました。

吹奏楽部演奏

海南高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏会も開催されました。

曲目は「君の名は。」コレクションと宝島でした。澁刺とした快活な演奏でした。ありがとうございました。



～参加者の声～

- ・海南高等学校吹奏楽部のOBです。演奏会に参加することで元気がもらえてすごく良かったです。
- ・いいお話と吹奏楽で充実した時間となりました

乳がん自己検診

保健師の指導による乳房モデルによる乳がん自己検診を実施しました。高校生の方からいろんな年代の方が参加しました。

「自分ではしこりというのはどんなものかわからなかったので、今回、乳房モデルでしこりはこんな感じなんだとわかりました。」という声もありました。今回の自己検診、ご自宅でも試していただけたらと思います。



白衣体験

白衣をきてみました！



骨密度測定



看護の心をみんなの心に

5月12日は
看護の日

～高校生の方より～

色々な体験ができてとても良かったです。看護師になりたいとより思いました。



看護の心を発信することができました。

皆様、ありがとうございました。